

Noritoshi Hirakawa, Hiroshi Sunairi, and Arto Lindsay

平川典俊、砂入博史、アート・リンゼイ

Silence in the Light

光の静寂



Installation View at Venetia Kapernekas Gallery, New York, 2008

このたび9月13日(土)より、当画廊におきまして平川典俊、砂入博史、アート・リンゼイの3名による展覧会「Silence in the Light」展を開催いたします。今回は、平川の写真と砂入の彫刻に合わせ、平川のおよびかけによって実現したアート・リンゼイからの詩の作品を展示致します。

平川はこれまで写真、インスタレーション、映像、演劇、パフォーマンスやサウンドなどさまざまなメディアを複合して社会のシステムや制度と個人との関係やその世界観を維新してきました。今回平川は、2年間にわたり静岡県浜岡市(現御前崎市)を訪れ、遠州灘を撮影したシリーズ「In Reminiscence of the Sea(ありし日の遠州灘)」を制作しました。日本によくある風景(遠景が多い)を思わせるのどかな雰囲気が漂うイメージの背後に、その実体を知ることによって始めてその風景の意味や視点が反転するこのシリーズはその危機感のなさによって一層、その見えないリアリティの重さを感じるようになります。

砂入は18歳で渡米し、ニューヨークを拠点に写真やパフォーマンスなど展開し、近年はインスタレーションや彫刻も制作しています。今回は、「Elephant Dinner(象の夕食)」というインスタレーションを発表します。これはインドの説話「盲人と象」にも基づいた作品です。

「盲人たちよ、象を見たことがあるか、象がどのような動物か言ってみよ？」 盲人たちが象に触れた時、王はそれぞれに質問をした。 頭を触った者はこう答えた、「象は鉢のようです。」 象の耳を観察した者は、「象は箕のようだ」と。 象の牙を触ったものは、「犁の歯」と言い、象の鼻を掴んだものは「犁」と言った。 そして象の体を感じた盲人は、「象は納屋」と、足を触ったものは、「柱石」といい、背中では「しっくり」、尻尾の毛は「筆」と。

---ウダーナの感興詩より

食器、家具、日常品のように、陶器の象の身体の部分部分はテーブルにアレンジされています。このインスタレーション、「象の夕食」は2007年に発表された砂入の作品、「白い象」の後編です。「白い象」で、砂入は実物大の象の体の部分部分が散らばった情景を9.11同時多発テロの追憶として発表しました。「象の夕食」は「白い象」と同じく白い陶器で作られ、「盲人と象」で説かれている相対性を象の体の抽象的なフォルムで表現しています。

アート・リンゼイは、70年代後半からニューヨークの音楽シーンで幅広く活躍。ジャンルにとらわれることのない音楽性は、多くのアーティストに影響を与え、音楽の分野を超えたコラボレーションも展開しています。今回の展示では、平川のおよびかけにより、手書きの詩を書き下ろします。



Noritoshi Hirakawa



Hiroshi Sunairi

平川 典俊 Noritoshi Hirakawa

1960年福岡県生れ。1993年よりニューヨーク在住。大学で応用社会学を学び、フィールドワークとして20か国以上をまわる。1988年以降、世界各地の美術関係者と会い、直接自分の考え方を説明し、作品の発表の場を探しながら文化的差異がもたらす認識やそれぞれの文化での社会と各自己の関わり方をテーマにアーティスト活動を開始。これまで数々の写真作品を美術館で発表している。(ポンピドーセンター、フランクフルト近代美術館、チューリッヒ・クンストハーレ、ニューヨークP S 1美術館、セゾン美術館、横浜美術館他)

砂入 博史 Hiroshi Sunairi <http://sunairi.blogspot.com/>

1972年広島生まれ。1990年18歳で渡米し、1995年よりニューヨークに移り作家活動を始める。現在はニューヨーク大学の非常勤教授もつとめる。「象の夜」広島市現代美術館(広島)や『仏陀』アートアンリミテッド、アートバゼル(スイス)での個展の他、「Making a Home: Japanese Contemporary Artist in New York」ジャパン・ソサエティ、ニューヨーク(2007)など数多くの展覧会に参加、また「アジアン・コンテンポラリー・アート・コンソーシアム08:アーティスト・イン・カンバセーション・ウィズ・照屋勇賢」(ニューヨーク大学)などの、キュレーションや講演など、活動は多岐に渡る。

アート・リンゼイ Arto Lindsay <http://www.artolindsay.com/>

1953年アメリカ生まれ。ギタリスト、歌手、プロデューサー、作曲家。3歳の頃に両親と共にブラジルに移住、17歳まで過ごすことになる。ブラジルの生活の中で経験したブラジル音楽に非常に影響を受ける。これまで坂本龍一やドイツの劇作家ハイナー・ミュラーや、ブライアン・イーノ、ヴィト・アコンチなど数々の音楽家やアーティストとコラボレーションを手がける。

会場：ワコウ・ワークス・オブ・アート WAKO WORKS OF ART

住所：新宿区西新宿3-18-2-101

T:03-3373-2860 F:03-3373-2812 M:info@wako-art.jp

(新宿駅南口より徒歩15分、京王新線初台駅東口より徒歩5分)

会期：2008年9月13日(土)～10月11日(土)

アーティスト・レセプション 9月15日(月・祝) 17:00-19:00

11:00～19:00 日・月・祝休み (但し、9月14日・15日は12:00-19:00開廊。)

同時開催：平川典俊 at NANZUKA UNDERGROUND (渋谷) <http://www.nug.jp/>

9月15日(月・祝)～レセプション 9月15日(月・祝) 19:00-21:00